

本庄南ロータリークラブ

会
報

例会日 毎火曜日 19:00~20:00
例会場 埼玉グランドホテル本庄
事務所 埼玉グランドホテル本庄内 〒367-004本庄市駅南2-2-1
Tel : 0495-23-0141 / Fax : 0495-23-0141
E-mail : rotary@mail.honjo.ne.jp

会長 矢部 一臣 会報広報委員会 / 委員長 飯塚能成
幹事 星野 栄一 / 委員 木村真純 堀川 明



第729回例会 5月19日(火) 発行 平成21年5月26日(火)

司会 / 松島雄二 SSA
点鐘 / 19時00分 矢部一臣会長
ソング / 我等の生業
茶摘
ゲスト / 児玉都市広域消防本部 本庄消防署長 消防司令長 前川 芳康 様
副署長 萩原 政晴 様
主幹 中野 和夫 様

会長挨拶

矢部一臣 会長



職業分類
(Classification)
職業分類表
(Classification Roster)
職業宣言
(Declaration for Rotarians in
Businesses and Professions)

皆様。今晚は。

本日の例会には、児玉都市広域消防本部から、本庄消防署長の前川芳康様、副消防署長の萩原政晴様、主幹の中野和男様と消防本部のご多忙な幹部3名の皆様にご来訪頂きました。

防災に関して卓話を頂けることになっております。お忙しい中、本当にありがとうございます。災害は、忘れた頃にやってきます。健康なときは、健康が当たり前、平穏なときは、平穏が当たり前だと思ふ。人間には、そんなところがあります。

危機管理ということも大事なことです。

常日頃から、いろいろな事を想定することも大事なことのようです。想定された危機には、対応の仕方もありますが、予想の無かった危機に対しては、物的な危害ばかりでなく、精神的なダメージも大きく深刻な事態になりかねないと言われております。

常日頃、当たり前だと思ふことが本当に当たり前なのか考えてみる、対策をとっておくということも大事なようです。

本日は、多くの体験をしている卓話講師の皆様のお話により、研修をしたいと思ひます。よろしく、お願いします。

さて、今日のロータリー情報は、職業分類 (Classification) と職業分類表 (Classification Roster)、そして、職業宣言 (Declaration for Rotarians in Businesses and Professions) です。

ロータリーの目的は、ロータリー精神を体得した人を一人でも多くつくり、奉仕の理想を実現して、住み良い社会を築くことにあり、ロータリーがその発展と存続を願う限り、会員増強は永遠に求められるテーマです。そこで、クラブは、職業分類表を作り、それから、充填、未充填を吟味することが不可欠になるわけです。

職業分類 (Classification) とは、地域社会に貢献する別個の明確な事業または専門職務活動を表示するものです。用語としては正会員の所属する商社、会社または団体の主要かつ一般社会がそのように認めている活動か、あるいは、正会員の主要かつまた一般社会がそのように認めている活動を最も正確に表示する字句です。

職業分類表 (Classification Roster) とは、地域社会における事業および専門職務活動のすべてを含む一覧表で、クラブで既に充填されているもの、未充填のものを明記したものです。

1989年の規定審議会は、次の職業宣言 (Declaration for Rotarians in Businesses and Professions) は、を採択しました。

職業宣言 (Declaration for Rotarians in Businesses and Professions)

事業または専門職務に携わるロータリアンとして、私は以下の要請に応えんとするものである。

1. 職業は奉仕の一つの機会なりと心に銘せよ。
2. 職業の倫理的規範、国の法律、地域社会の道德基準に対し、名実ともに忠実であれ。
3. 職業の品位を保ち、自ら選んだ職業において、最高度の倫理的基準を推進すべく全力を尽くせ。
4. 雇主、従業員、同僚、同業者、顧客、公衆、その他事業または専門職務上関係をもつすべての人々に対し、ひとしく公平なるべし。
5. 社会に有用なすべての業務に対し、当然それに伴う名誉と敬意を表すべきことを知れ。
6. 自己の職業上の手腕を捧げて、青少年に機会を開き、他人からの、格別の要請にも応え、地域社会の生活の質を高めよ。
7. 広告に際し、また自己の事業または専門職務に関して、これを世に問うに当たっては、正直専一なるべし。
8. 事業または専門職務上の関係において、普通には得られない便宜ないし特典を、同僚ロータリアンに求めず、また与うることなかれ。

(ロータリージャパンから)

幹事報告

星野栄一 幹事



本日は消防署の幹部の皆さん、研修卓話ありがとうございます。

5-6月にかけて各種団体の総会や大会の案内が沢山来ております。なるべく出席したいと思っております。

6月は最終月となります。次年度クラブ協議会の他は、さよなら例会などイベントで終わりたいと思いますので、出席のほどよろしく願います。

委員会報告

国際奉仕委員会

長 沼 章



次週、早稲田大学大学院留学生との交流会の予定ですが、再確認させていただきます。

2時30分集合 3時30分開会

場所 早稲田本庄 馬車道2F

飲み物とつまみは私と会長で調達しますのでご心配いただかなくて結構です。楽しい交流会にしましょう。

卓 話



児玉郡市広域消防本部
本庄消防署長 消防司令長
前川 芳康 様

地震から身を守る 10ヶ条！

1 まず身の安全を図れ

倒れやすい戸棚や本棚からすぐ離れ、丈夫なテーブルや机の下に身をかくす。

2 すばやく火の始末

「火を消せ！」とみんなで声を掛け合い、ガスコンロやストーブなどの火を確実に消す。

3 戸を開けて出口を確保

特に鉄筋コンクリートの建物内にいるときは、閉めたままだと建物がゆがみ、出入り口が開かなくなることがある。

4 火が出たらすぐ消火

「火事だ！」と大声で叫び隣近所に協力を求める。炎や煙にまどわされず、できるだけ近寄って火を消す。

5 外へ逃げるときはあわてずに

外へ逃げるときは瓦などの落下物、ブロック塀などの倒壊物に注意。あわてず落ち着いて行動する。

6 狭い路地やブロック塀には近づかない

ブロック塀、門柱・自動販売機などは倒れやすいので注意。

7 山崩れ、がけ崩れ、津波に注意

ラジオやテレビで正しい情報を入手する。津波警報が発令されたら、急いで高い場所に逃げる。

8 避難は徒歩で、荷物は最小限に

決められた避難場所に、決められた経路を、できるだけ集団で、歩いて避難を。

9 協力しあって応急救護

お年寄りやからだの不自由な人、けが人などに声をかけ、みんなが助け合う。初期消火もみんなが協力して。

10 正しい情報をつかみ、余震を恐れるな

うわさやデマに振り回されない。トランジスタラジオやカーラジオで正しい情報を。

そのときあわてないために！

大地震への不安は誰しも同じ。

しかし、不安がるだけでは、何の解決も生み出せません。

日ごろの心構え備えこそがモノをいいます。

食料と水は3日分が必要

救護の手が届くまでラジオで3日分の食料と水があれば、まず大丈夫といわれています。あまり欲張らないことも大切です。

非常食はときどき入れ替えながら保存を

非常食は一度準備したからといって、安心するのははやい。いざというときに開けてみたらダメになっていたではすみません。

1日1人当たりの水の必要量は約3ℓ

つまり3日間生き延びようとしたら、1人当たり9ℓの水が必要になってきます。水の保存はポリ容器が便利。

これだけは準備しておきたい非常持ち出し品

わが家のチェック表

非常食	水・カンパン・缶詰類(缶切り)・レトルト食品・菓子類・チーズ・梅干
救急セット	包帯・ガーゼ・消毒薬・目薬・ハサミ・とげ抜き・家庭常備薬
衣類	防寒用衣類(セーター・コート)・下着・靴下・軍手・厚手のゴム手袋・底の暑い靴・毛布・タオル・紙おむつ・おぶいひも
その他	預金通帳・印鑑・証書類・現金・懐中電灯・電池・ローソク・マッチ・ライター・携帯ラジオ・防災ずきん・ヘルメット・ティッシュ・ビニール袋・ミルク・哺乳びん・生理用品・防水ビニールシート

住宅用火災警報器等の設置が義務付けられました！

住宅火災による死傷者の減少を目的として、消防法並びに児玉郡市広域市町村圏組合が一部改正され、本庄市、美里町、神川町及び上里町の住宅に住宅用火災警報器等の設置が義務付けられました。

Q いつまでに住宅用火災警報器等をつけなければならないの？

新築住宅については平成18年6月1日から設置義務化されております。

既存住宅については平成20年6月1日になるまでに設置しなければなりません。

Q なぜ住宅用火災警報器等をつけることになったの？

住宅用火災警報器等をつけることになった背景には、平成18年に住宅火災で亡くなった人のうち、約6割超の人が「逃げおくれ」が原因で命を落としています。また「逃げおくれ」が多い理由として、夜間就寝中の場合が多いことも原因となっています。(死者1,187人中22時から6時の間の死者は535人)

またすでに義務化されている米国や英国では、住宅火災による死者数が減少していることなどが挙げられています。

こういった人たちのうち何割かは、住宅用火災警報器によって、早めに火災の発生を知ることができれば、助かった可能性があったのです。

なかでも火災で亡くなった方のおよそ6割を高齢者が占めていて、高齢化の進む現在の日本では、こうした火災から人々の命を守るために備える必要が高まっています。

出席報告

清水正一 出席委員長

会員数	出席	M U	欠席	出席率
22名	8名	4名	10名	54%

ニコニコボックス

小松 政敏会員

児玉郡市広域消防本部のみなさま、本日はお忙しい中ありがとうございます。

例会予定

6月2日	会員スピーチ(会員組織)	G本庄
	・・・ 定例理事会	
6月9日	クラブ協議会	G本庄
6月16日	ディスカッション	G本庄
6月23日	オープン例会	L a l a
6月30日	サヨナラ例会	G本庄